

施政方針表明

2月27日の市議会定例会で、片山象三市長が施政方針を表明しました。施政方針は1年間のまちづくりの基本的な考え方や予算運営の方針、主要事業について示したものです。ここではその概要と新年度予算についてお伝えします。なお、施政方針の全文や予算については市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

■問合せ 次世代創生課（市役所内線2226）
財政課（市役所内線2220）

地方創生に向けて積極的な予算編成

いよいよ、地方創生の幕開けです。政府において、「長期ビジョン」と「総合戦略」が示され、人口減少と超高齢化という大きな課題への取り組みが、地方から本格的に始まることとなります。

西脇市における25年後（2040年）の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計で、31,720人となっております。極めて厳しい見通し

です。国全体の人口が減少していく中で、本市においても自然減だけでなく若年層を中心とした都市部への流出による社会減という大きな課題に直面しています。このままでは、地域経済の縮小やコミュニティの活力が失われていくという事態が強く懸念されます。そこで、これらの課題に立ち向かい、「まち・ひと・しごと

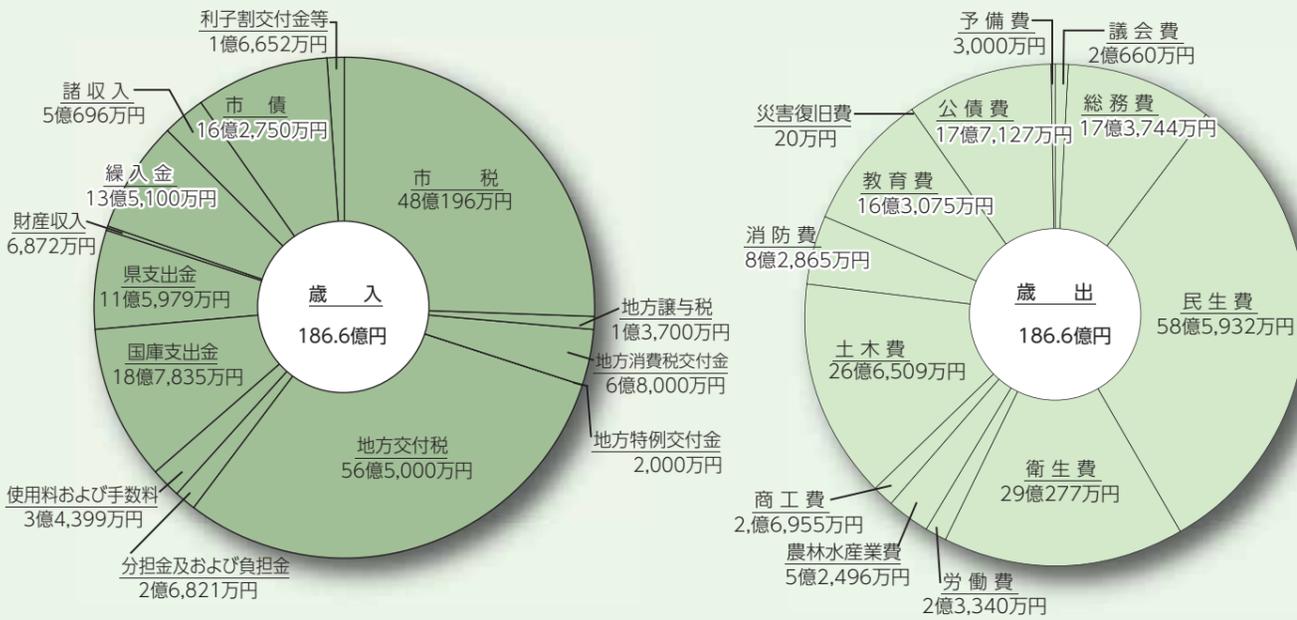
と」の創生を図るため、本市における地方人口ビジョンと西脇版総合戦略を策定します。また、西脇市は合併から10年という節目の年を迎えます。ふるさと発展のため、各種記念事業を年間を通して展開し、それぞれの分野から西脇市を盛り上げ、未来につなげたいと思っております。

平成27年度は、西脇市が将来に向かって着実に前進をし

ていくために大変重要な1年だととらえています。市民の皆さまが誇りと自信を持っていきいきと暮らせる西脇市の実現を目指して、さまざまな分野において、大胆な発想を取り入れながら、果敢にチャレンジを続けてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

西脇市長 片山象三

■一般会計当初予算の構成



■平成27年度各会計の予算額

(単位 千円、%)

会計名	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	比較	
			増減額	増減率
一般会計	18,660,000	18,700,000	△ 40,000	△ 0.2
特別会計合計	11,874,782	10,865,977	1,008,805	9.3
国民健康保険特別会計	5,955,623	5,292,164	663,459	12.5
学校給食センター特別会計	324,919	333,887	△ 8,968	△ 2.7
老人保健施設特別会計	475,134	470,335	4,799	1.0
公営墓地特別会計	6,150	6,929	△ 779	△ 11.2
介護保険特別会計	4,190,824	4,157,315	33,509	0.8
茜が丘宅地供給事業特別会計	34,738	33,922	816	2.4
後期高齢者医療特別会計	518,578	510,425	8,153	1.6
太陽光発電事業特別会計	368,816	61,000	307,816	504.6
企業会計合計	16,365,993	18,512,133	△ 2,146,140	△ 11.6
水道事業会計	2,402,380	2,638,119	△ 235,739	△ 8.9
簡易水道事業会計	191,053	586,743	△ 395,690	△ 67.4
下水道事業会計	4,126,605	4,496,785	△ 370,180	△ 8.2
病院事業会計	9,645,955	10,790,486	△ 1,144,531	△ 10.6
総合計	46,900,775	48,078,110	△ 1,177,335	△ 2.4

平成27年度実施の主要事業

平成27年度一般会計総額は186億6千万円。国の緊急経済対策を盛り込んだ平成26年度補正予算と一体的に編成しました。「経済の復活」「教育の復活」「住みやすさの復活」の実現に向けて、さまざまな施策を展開していきます。

経済の復活

日本のへそで「おもてなし」

「日本のへそおもてなし条例」を制定し、市内特産物のPRやグルメ開発など農業・商業・観光の連携を進めます。

1,300万円

市制10周年記念酒

市制10周年を記念し、横尾忠則さんデザインのラベルを使用した日本酒を販売し、山田錦をPRします。

400万円

ものづくり・あきない支援

経営革新等に挑戦する市内の事業者を対象に、事業費（新製品等の開発、販路開拓・拡大等）の一部を助成します。

2,000万円

ふるさと同窓会を支援

市内での消費拡大を図るため、市内集会施設やレストランなどで開催される同窓会等の費用の一部を助成します。

300万円



神戸ビーフの素となる黒田庄和牛

20%のプレミアム付商品券
市内商業の活性化を図るため、20%のプレミアム付き商品券を発行します（発行総額3億円）。

6,500万円

西脇ファッション都市構想

デザイナーなどの人材育成への補助や最終製品の製造・販売等に向けた調査を実施し、ブランド力を向上させます。

1,000万円

訪れてみたいまちづくり

交流人口を拡大し、地域の活力とにぎわいを創出するため、観光交流ビジョンを策定します。

300万円

教育の復活

小・中学校の施設を整備

快適な学習環境を提供するため、小・中学校のトイレの洋式化や太陽光発電設備設置工事を行います。

7億6,780万円

タブレットを試行導入

視覚に訴える学習を進め学習意欲の向上を図るため、モデル校を指定し、タブレット型パソコンを試行導入します。

308万円

読書通帳機を導入

今秋オープン予定の茜が丘複合施設「みらいえ」の図書館で、県下初となる読書通帳機を導入し読書の促進を図ります。

1,130万円

学力向上に向けた取り組み

学習向上シンポジウムを引き続き実施するとともに、若手教員の指導力を向上させるためスーパーティーチャーを配置します。また、授業や家

庭学習等において「問題デーテーブル」を導入するなど、基礎学力の向上の取り組みを充実させます。

614万円

西脇小学校校舎改修

西脇小学校校舎基本計画検討委員会からの答申を受けて、木造校舎改修のための基本計画・基本設計を行います。

3,102万円



景観形成重要建築物に指定されている西脇小学校

住みやすさの復活

健全に遊べる環境を整備

茜が丘複合施設「みらいえ」のこどもプラザに、遊具を設置するとともに、プレイリーダーを養成・配置して健全な遊びの場を提供します。

1,103万円

への助成を行います。

168万円

西脇健康ポイント制度創設

市民一人ひとりの健康づくりや介護予防の実践に対して「健康ポイント」を発行し、楽しみながら健康づくりに取り組みをきっかけを作ります。

102万円

高齢者の歯科口腔健診

高齢者の口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防するため、

750万円

歯科口腔健診を実施します。

259万円

福祉タクシーがより便利に

福祉タクシー券の交付枚数および助成方法を変更し、より利用しやすくします。

1,630万円

住宅耐震化を推進

防災ベッドの設置や住宅建て替えに係る支援制度を新設し、住宅の耐震化を進めます。

老朽化する橋りょうを点検

老朽化する道路や橋の定期点検を行い、長寿命化修繕計画を策定して計画的な補修を行います。

1億8,777万円

消防団にデジタル式無線

平成28年6月からの消防無線完全デジタル化に向けて、消防団に無線機・受令機を配備します。

1億1,937万円

「環境」をキーワードとしたまちづくり

再生可能エネルギーの積極的な利活用や環境に配慮した取り組みを通じて、「環境」をキーワードとしたまちづくりを進め、ゼロエミッションなどによる西脇のブランド力を高めていきます。

創エネ・省エネを支援

住宅用太陽光発電設備に加えて、太陽熱利用システムやエネファーム、家庭用蓄電池、電気自動車など各家庭における省エネ設備の導入を支援します。

1,000万円

播州織繊維くずなどの有効活用

播州織の繊維くずや古着などからのクリーンエネルギー創造に向けた調査を行います。

865万円

防犯灯をLED化

安全安心の確保と地球温暖化の抑制や低炭素社会の実現に向け、防犯灯のLED化を進めます。

2,000万円

太陽光発電所を整備

平成27年10月からの稼働に向け、みどり園最終処分場跡地に太陽光発電所を整備します。売電収入は環境のための事業に活用します。

3億4,316万円

市制10周年記念事業

「NEXTにしわき～ともに織りなすまちの未来へ」

合併後10年という節目の年を迎え、各種記念事業を年間を通して展開し、それぞれの分野から西脇市を盛り上げ、未来へつなげていきます。

市制10周年記念式典を開催

市制10周年記念式典を開催し、各分野で市政発展に貢献された方々の功績をたたえ、次代に向けてさらなる一体感の醸成と飛躍・発展を誓う場とします。

330万円